

公益社団法人 土木学会 記者発表

創立100周年事業について

平成25年2月4日

土木学会創立100周年事業実行委員会

土木学会創立について 藤野先生が作成したものを入れ込む 2014年11月に100周年を迎えます

- 創立：1914年（大正3年）
- 古市公威初代土木学会会長の就任演説

土木技術者は
「指揮者を指揮する人」、「将に将たる人」
たらねばならぬことを力強く述べ、
土木学会会員に
「研究の範囲を縦横に拡張せられんこと」を、
そしてそれと同時に
「その中心に土木あることを忘れられざらんこと」を



「100周年事業」に向けた これまでの取り組みと展開

- 2007年、100周年準備タスク
フォースにより100周年に向け
ての準備・議論を開始

全国大会での継続的した議論

2010年 全国大会(札幌)での
土木学会100周年記念事業キック
オフ討論会を皮切りに、2011年
愛媛、2012年 名古屋での全国
大会で記念討論会を実施、100
周年ビジョンを議論



100年事業の基本方針

公益社団法人土木学会は、2014年11月24日に創立100周年を迎える。
この節目のときに、土木学会員の皆さまとともに、
100周年を迎えることを祝い、

- ① これまでの土木の歩みを振り返り、反省すべきことは反省し、
主張すべきことは主張し、そして、
- ② 土木界、土木学会、土木技術者が今後何をすべきかを考え、
それらを実行する、すなわち改善、
前進するための具体的な活動を起こすことにより、
- ③ 土木学会活動を発展的成長へと転換する機会としたい。

「100年事業」の基本方針

この100年の間に、わが国をとりまく環境は大きく変化し、

土木に求められる社会的な要請もまた大きく変化してきた。

人口減少・少子高齢化、グローバル化、経済状況の悪化、地方の疲弊、社会インフラの維持管理の増大、多発する災害、資源・エネルギー問題、地球環境問題など、対応すべき課題が現在も数多く存在している。

常に、長期的かつ大局的な展望を保ちながらも、

時代の変化を敏感に捉え、さまざまな課題や社会からの要請に応え、公益の増進を図るための不断の努力を続けることは、土木の使命である。

また、個々の土木技術を進歩させることに加え、総合性を身につけ、市民のための工学の担い手として、人類の生存と営みおよび人類と自然の共生に貢献するという活動・精神は、土木学会創立以来不変のものである。

「100年事業」の基本方針

このような考えのもと、土木学会は、100周年を記念し、「社会貢献」、「国際貢献」、「市民交流」を3本の柱とした、土木界、土木学会、土木技術者がこれから100年を超えて発展し、成長し続けるための事業を実施する。

「社会貢献」の中でも特に「社会安全」に焦点をあて、尊い命をまもる、そして幸せな生活が送れる豊かな社会の実現に向けた活動を、最も重点的に展開する。

また、国内の支部活動のさらなる活性化および海外支部とのネットワークの強化に力を入れ、土木学会の活動を日本全国、世界へと発展させる。

「100年事業」の基本方針

安全で安心できる、魅力と活力のある地域、国、世界の実現、さらには次世代が夢と希望を持てる社会の創造に向けた活動を100周年事業として展開し、豊かなくらしの礎であり続けたい。

そして、人命、財産、文化、地域、自然、環境、国土、伝統をまもる、新たな100年の創出に向けて挑む、市民に開かれた「土木」を目指していく。

土木学会員、関係各位のご理解、ご支援、ご協力をお願いする。

公益社団法人土木学会

土木学会創立100周年事業実行委員会

「100年事業」のキャッチフレーズ

豊かなくらしの礎を
これまでも、これからも

100周年事業

以下を柱として検討開始

- 土木の原点、総合性への回帰を見つめ直し、
社会の安全確保を図る 【社会安全事業部門】
- 安全に支えられた豊かな環境と暮らし・活力ある社会を実現する
【社会貢献事業部門】
- 土木に関する国民との対話の促進を図る 【市民交流事業部門】
- アジアを中心として世界のインフラ整備に貢献する土木界を目指した
【国際貢献事業部門】

以上の柱より、

- 委員会・支部を対象とした事業提案募集(一次・二次)
- 委員会・支部が実施している既存の事業の洗い出しを行い、支部ですでに実施している事業の拡充、全国展開、複数の事業の統合なども視野にいれ、

観点1:一過性ではなく、継続性のある事業であること。

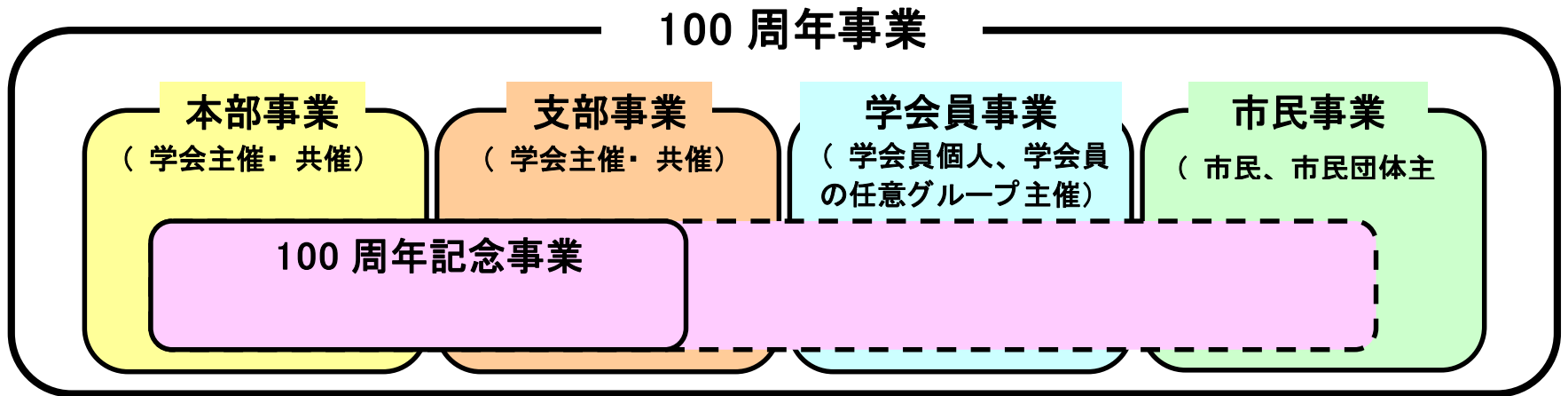
観点2:土木の広い分野を横断するような事業であること。

全体として2つの観点から選定。

決定した事業を、以下の構成として、事業を展開

記念事業の構成について

下の概念図のとおり



具体的な事業について

●安全・安心な国土づくりを目指して

【社会安全事業部門】

[] は活動の主体となるもの

- 「安全な国土への再設計」(各支部で取組み) [各支部]
- 津波・高潮の水位標識設置プロジェクト [海岸工学委員会]
- 首都震災等の巨大災害を想定した
工学連携ネットワーク構築プロジェクト [社会安全研究会]
- 安全・安心・安定な社会づくりに向けた地域継続計画(DCP)に
関する教育・広報資料の作成 [安全問題研究委員会]

●次世代への土木ビジョンと社会貢献 【社会貢献事業】

[] は活動の主体となるもの

- JSCE2100ビジョン(仮称)策定 [特別委員会]
- 「みらいの土木技術コンテスト」を開催

[100周年実行委員会(コンテスト準備委員会)]

- 「若手土木技術者の交流サロン」の展開 [各支部]
- 全国大会討論会 [100周年実行委員会]
- ITを活用した情報の蓄積と発信 [企画委員会]

●各地で取り組まれた皆さまとの交流行事や 新たな100周年事業を継続するために 【市民交流事業部門】

- [] は活動の主体となるもの
- “市民普請大賞”を創設 [100周年実行委員会]
 - 土木に関わる市民活動を応援します
～市民活動の登録・応援制度～ [100周年実行委員会]
 - 土木の日 [土木の日実行委員会]
 - 土木コレクション HANDS＋EYES [土木コレクション小委員会＋各支部]
 - 土木ツアー [社会コミュニケーション委員会]
 - 土木ふれあいフェスタ [コンサルタント委員会＋各支部]
 - 土木カフェ（どぼくカフェ） [関西支部FCC＋各支部]
 - 記念グッズ・記念切手について [100周年実行委員会]

●海外へ向けた取組みと情報発信 【国際貢献事業部門】

- [] は活動の主体となるもの
- 英文論文集(第1号:東日本大震災) [論文集編集委員会]
 - 2013年CECAR(インドネシア)にて
100周年記念プレ事業としてスペシャルセッション [ACECC担当委員会]
 - 2014年 100周年記念国際会議 [国際センター]
 - 「持続可能社会の形成に資するインフラ構造の長寿命化技術」に
関する国際集会 [構造工学委員会]
 - 学会の国際活動発信と留学生ネットワーク強化のための
電子情報システム事業 [国際センター]
 - 日本－韓国－台湾ジョイントセミナーによる国際競争力の増強 [西部支部]
 - インフラ国際協力・国際貢献アーカイブス構築 [100周年実行委員会]

● 100周年記念式典

- 土木の原点に立ち返り、土木の将来に対する示唆を与え、社会に対して、また会員にとって大きな意義を有する事業として実施

詳細が決まり次第ホームページなどで随時お知らせします。

2014年11月21日(金)
土木学会創立100周年記念式典開催



場所 東京国際フォーラム



● 記念出版など

- 日本土木史 [日本土木史編集特別委員会]
- 土木学会100年史 [100年史編集委員会]

また、土木学会100周年記念出版企画募集が行われるなど
今後事業についての展開や、動きは
HPや、記者発表にてお知らせしてまいります。

創立100周年事業実行委員会 組織体制

実行委員長

藤野 陽三(東京大学)

副委員長

菊川 滋(国土交通省)

田代 民治(鹿島建設)

小林 潔司(京都大学)

林 良嗣(名古屋大学)

委員兼幹事長 熊本 義寛(東日本旅客鉄道)

委員兼副幹事長

杉原 克郎(清水建設)

日比野直彦(政策研究大学院大学)

松田光弘(建設技術研究所)

事業部会

A部会 部会長 田村亨
(北海道大学)

B部会 部会長 屋井鉄雄
(東京工業大学)

C部会 部会長 島谷幸宏
(九州大学)

国際部会

部会長 木村 亮
(京都大学)

式典部会

部会長 山崎 隆司
(ジェイアール東日本
コンサルタンツ)

広報部会

部会長 藤井聡
(京都大学)

出版部会

部会長 依田照彦
(早稲田大学)

支部部会

部会長 福田敦
(日本大学)

財務部会

部会長 福本勝司
(大林組)

創立100周年事業実行委員会 顧問グループ

議長	橋本 鋼太郎	NIPPO
委員	家田 仁	東京大学
	上田 多門	北海道大学
	大石 久和	国土技術研究センター
	大島 一哉	建設技術研究所
	大西 博文	土木学会
	小野 武彦	清水建設
	金井 誠	大林組
	鬼頭 平三	日本港湾協会
	木村 洋行	大成建設
	甲村 謙友	水資源機構
	山本 卓朗	土木学会

「土木学会100周年」 ホームページが本日 オープンしました！

今後、100周年事業に関する情報を
タイムリーに発信してまいります。

<http://www.jsce100.com>



豊かなくらしの礎を
これまでも、これからも

HOME | 土木学会

2014年11月24日の土木学会100周年まで
あと **691**日

1914年
東京駅
竣工



HOME	>
土木学会会長あいさつ	>
100周年実行委員長挨拶	>
100周年実行委員会構成	>
100周年に向けたこれまで	>
記念事業一覧	>
土木学会創立100周年記念式典	>
土木学会100年のあゆみ	>
プレスルーム	>
お問い合わせ	>

最新情報

> 2013-02-04 100周年記念サイトを公開しました。

2014年11月21日(金)
土木学会創立100周年記念式典開催



2014年に百周年 JSCE

場所 東京国際フォーラム

土木の原点に立ち返り、土木の将来に対する示唆を与え、社会に対して、また会員にとって大きな意義を有する事業として実施します。詳細が決まり次第ホームページなどで随時お知らせします。